

昭和小学校だより

第6号
R2.7.17(塩田)



おかげさまで、フール、がんばってます！



消防団の方に手伝っていただいていたきれいなプールで、水泳の学習を行っています。当初、プールに入れた地下水の鉄分が抜けずに、3日ほど、子供たちをお待たせしてしまいました。

今年は新型コロナウイルスの関係で「プールでの学習ができるかどうか・・・」からの出発でした。ですから、子供たちが元気にもぐったり、「校長先生、見とってえ」と言って泳いでみせてくれたりする姿に、胸があつくなります。

子供たちには人の命も自分の命も大切にしながら、目標をもって学習して行ってほしいです。

放課後子ども教室 「和太鼓」



3年生9名で、日本の伝統文化に

挑戦しています。和太鼓のたたき方だけでなく、あいさつ、立ち居振る舞いなど、「日本の精神」そのものを教えていただいているように感じます。指導者は石匠太鼓の吉田和人先生、太鼓は松田神社から寄贈して



いただいたものです。子供たちはまじめに参加していて、まだ2回の練習ですが、ぐんぐん身につけています。多くの方の前で堂々と発表できる日を目指します。

また、今の4年生も3年生の時に練習していましたが新型コロナウイルス感染防止により発表の機会がありませんでした。いつか4年生の発表の機会も作りたいと思っています。



78年前の災害

このたびの球磨川の氾濫による坂本地区の被害の様相や被災された方々の思いは筆舌に尽くし難く、ここでは安易に記すことはできません。

ただ、八竜小と坂本中の子供さんたちが全員無事ということに安堵いたしました。

市教委や市、先生方が奔走されて、市内2カ所に臨時の学習室が設けられました。思えば、この昭和地区も昭和17年と19年の戦時下に、潮害により甚大な被害を受けたと聞いています。校長室の書庫にある学校沿革誌をあらためて読み直しましたところ、次のように記されていました。

「昭和17年7月29日午前九時半 潮害ヲ受ク。沖ノ潮受堤防五十間位決潰ス。児童ハ全部平素ノ訓練通り 各部落ノ区長ニ引率セシメ最モ近キ安全ナル堤防ニ避難セシメタリ。」

「昭和17年8月30日 児童ヲ郡築国民学校、千丁第2国民学校、文政国民学校ノ3校ニ分ケ、教室ヲ借りテ本校職員授業ヲナスコト決定セリ。」

「昭和18年5月1日 昭和国民学校ニ於イテ授業ヲ行ウコトニシテ全児ヲ集合ス。而シテ復旧ニ努力シ現在ニ至ル。」

しかし、1年4ヶ月後の昭和19年9月の台風により、堤防が七十五間にわたって再度決潰することは、この時には知る由もなく、復旧に向けて心血を注いでおられたことと想像します。

連絡

①先日配付した「緊急時の引き渡し方法」の内容に付け加えます。お迎えを親族以外の方（子供さんの友だちのお母さんなど）に依頼される場合には、その旨を事前に電話でご連絡ください。また、道路の冠水やひび割れ、津波警報などにより、お迎えの方ご自身の命が危険にさらされそうな場合には、無理をされずに時を待ってください。お子さんは職員と一緒にいます。

②事務室で販売しているケース入りの名札が値段が100円から110円に値上がりしました(_)